

---

# 海

苺のタルト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
海

【コード】  
N8976I

【作者名】  
苺のタルト

【あらすじ】  
生命が生まれた場所が海というのなら、  
生命が果てる場所もまた、海なのではないでしょうか。

.....

乾いた大地を、白い素足で踏みしめる。  
空に浮かぶ金色に焼かれた砂を指が掴み、

## 跳躍

飛沫を上げる青色に身を投げ入れれば、  
纏わりつく冷たさが熱に焼かれたこの身を冷ます。  
静かに底を揺蕩いながら見上げれば、揺らめく白光が入り交ざる、  
空と海の碧が織り成す神秘に満ちた世界が柔らかな流れをなして包  
み込んだ。

音一つ無い、静寂。

螺旋を描いて浮かぶ、極小さな小さな粒は、道を作り、  
上へ、上へ、遙か遠くの透青クリアブルーの彼方へ。

この道はどこへ続くのだろうか？  
それともどこにも続かないのだろうか？

辿りつけない微かな焦りが、身を焦がす。  
伸ばした手が掴む、細く柔らかな感触に、

嗚呼こんなにも、胸が苦しい。

か細い腕に、優しく強く力を込めて。

一瞬の、快樂

一際大きな粒が、海月のようにゆらゆらと、天へと消えた。  
この青はほら、身体の中にまで入り込んで、  
中から外から熱を逃がしてくれる。

一つになれる。

青い碧いさざめきの、そのずっと下、  
人知らない深青ディープブルーの世界に、

人が誰しもその身に宿す、最も美しい結晶が壊れる音がした

.....



(後書き)

カオスでしたね。

ここまで読んでくれてありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8976i/>

---

海

2010年12月31日23時12分発行